

ライブ毎刊びゃっきープレス

2006

2 月 16 日号

ライブ当日発行

無料配布

↑あたりまえ



役にたたない偏重サイト  
情報がグレードダウン!!

アクセス不要

http://www.satram.jp/

info@satram.jp

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟

http://www.satram.jp/byacky/

byacky@satram.jp

配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人

byacky press

# 一番最後に出る国はどこか(予想)

ついにトリノオリンピックピックが開幕した。イタリア国内ですら総選挙の裏番組的扱いで、盛り上がりにかけているという今回の冬季オリンピックピックにびゃっきーもさほど興味がない。たまたま飲み屋で開会式を目にすることになったが、果たして飲み屋でも盛り上がりが出ていない。開催期間がどれほどあるのかも知らないが、おそらく閉会式までひっそりとかつ黙々とスケジュールがこなされていくに違いない。こんな通夜前夜のようなトリノオリンピック開会式をびゃっきーファイルを通して国民のみなさんにレポートする。

# 何者だ！歌を歌う少女



写真がないのでテレビで撮ったロシアのカーリング



# 日本は「じゃないのですぞ

晩飯をおごってもらうため、父親の行きつけの飲み屋に顔を出したびゃっきーだった。が、珍しく父親は存在せず、まあいいか、ととりあえずビールを注文。その店には大画面液晶テレビが置いてあって、見るとトリノオリンピックの開会式の模様が映し出されている。

イタリアでは今総選挙の準備が忙しく、開会式に首相が出ないとか、イタリア南部では、北部で行われるオリンピックに対して他人事のような感覚だということ、まるで盛り上がり上がっている様子がない。そういう先入観で開会式を見ていると、入場行進も何か寂しげに見える。冬季オリンピックは種目的にも金銭的にも、出場国に偏りがあって、国によって入場する選手団

が旗手一人だけだったりして、嫌がおうにも寂しさが募る。それでも気を取って直して選手の入場を見続ける。イタリアでの開催なので、入場順はイタリア語表記のアルファベット順である。日本は「J」ではなくて「G」なのでドイツの次というのであった。ジョルノジョーナが「J O J O」ではないことを知っていたびゃっきーにとっては「なるほど」の一言。びゃっきーはなかなか博識なのだ。

そのあと、小野ヨーコさんが出るだけで、世の中にそのような説が流れているかどうかは知ったことではない。しかしそれだけのことで世界中に放映されるなんてなんとうらやましい。オレもトリノ市長の息子として生まれて、「60億分の1」を熱唱してみたかった。そんなこんなで待てど暮らせど父親は顔を見せぬので、適当なところで引き揚げることにした。そして翌日に原田が失格したことを知る。それにしたってどうでもいい。(びゃっきー)

# トリノ五輪開幕